

日本医療情報学会  
第18回上級医療情報技師能力検定試験  
(2024年度)

一次試験問題冊子  
(午後Ⅱ)

受検番号：\_\_\_\_\_

氏名：\_\_\_\_\_

2024年8月25日

## 課題

以下の文章で、著者は、医療 DX について「情報システムだけで達成できるものではない」と述べている。医療 DX を進めるために何が必要か、その理由を含めて考えを述べなさい。

解答は、800文字以上、1,000文字以内で論述しなさい。

我が国は、これからの 30 年で 30%の人口が減少し、少子高齢化がますます進むと予想されている。その中で、さらに来年度からは医師の働き方改革が行われようとしている。我が国の社会構造が大きく変化しようとしている中で、地域医療を維持するためにも、医師をはじめ医療従事者などの働き手をどのように維持していくのかが重要な課題である。

医療情報は社会経済環境の変化に伴う隙間を埋める重要な社会基盤である。将来に向けて医療を持続可能なものとするためにも、医療 DX は、今すぐにも進めなければならない喫緊の課題である。

医療 DX を進める上で医療情報が重要なキーであることは、もはや説明不要であろう。例えば、働き方改革において働き方を「見える化」しなければ、その改革の効果を測ることができず、社会経済的な評価もできない。医療 DX は医療情報の連携や活用を通じて、従来の医療業務の中に溶け込んだ業務変革であり、情報システムだけで達成できるものではないのである。

出典：小笠原克彦「医療 DX の基盤としての医療情報」新医療（2023 年 11 月号）より抜粋、一部改変

## 受検上の注意（午後Ⅱ）

### 1. 一般的注意事項

- 座席の受検番号を確かめ、机に貼付された受検番号札の横に並べて受検票を置いてください。
- 机の上には受検票、BまたはHBの鉛筆（黒）、消しゴム、鉛筆削り、時計機能だけの時計、眼鏡以外のものを置いてはいけません。
- 解答は、小論文方式になっています。

### 2. 携帯電話・電卓などの使用禁止

- 時計のアラームは使用しないでください。
- 電卓などの計算機能つき機器の使用は禁止します。
- 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等は、必ず電源を切ってカバンの中にしまってください。

### 3. 問題冊子・解答用紙について

- 問題冊子は、指示があるまで開かないでください。
- 解答用紙の所定の箇所に受検番号、氏名、生年月日を書いてください。なお、**受検番号を記入する欄は2箇所あります**ので、注意してください。
- **受検番号および氏名の未記入は採点対象外（不合格）となります。**
- 問題冊子に落丁または不鮮明な箇所がある場合は、手をあげて監督者に合図してください。
- 問題冊子は持ち帰ってください（机に残された冊子は処分します）。

### 4. 途中退出等について

- 試験中、体調が悪くなった場合やトイレに行きたくなった場合は、手をあげて監督者の指示にしたがってください。試験時間内に回復すれば試験場に戻ることができます。ただし、試験時間は延長しません。
- 試験開始後30分経過した後から、試験終了10分前までは退出可能です。試験終了前に退出する場合は、手をあげて監督者の指示にしたがってください。

### 5. 試験終了について

- 試験終了の合図とともに鉛筆を置き、解答用紙の表を下にして机の上に置いてください。
- 監督者が解答用紙を回収します。監督者から指示があるまでは席を立たないでください。

### 6. 不正行為について

- 試験開始後の私語や不審な行動は不正行為と見なします。
- 不正行為を行った場合は、退場を命じるとともに、不合格とします。